



3月18日（月） 来年度に向けてヤング自治会のリーダー選出！！
藤山中学校

3年生が卒業しヤング自治会のリーダーも交代です。全校集会後、体育館にて臨時のヤング自治会集会を行い、新役員の選出を行いました。

13グループから10グループに再編成したヤング自治会の顔ぶれは、新鮮で、少し緊張感が漂う中、自治会長、副会長、書記の選出が行われました。2年生が立候補する自治会がほとんどで、やる気がみなぎっている姿に、3年生が残してくれた功績だと感じずにはいられませんでした。各グループで新役員としての意気込みを堂々とする姿に、先生方は胸が熱くなりました。



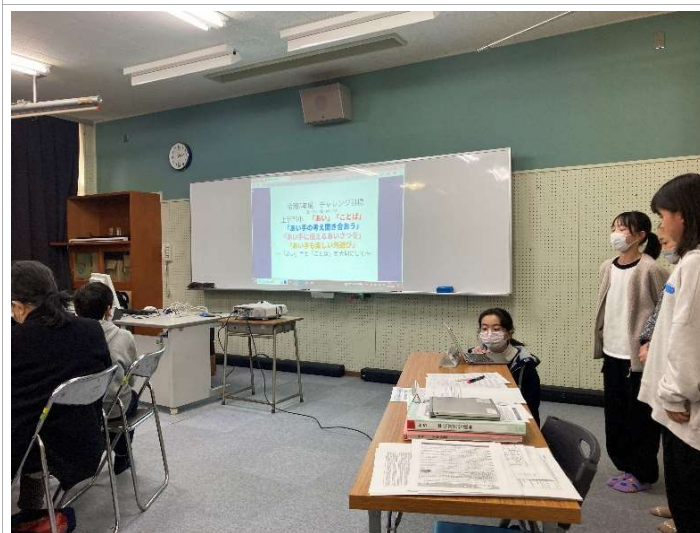
3月13日（水） 橋の見学会
楠中学校

学校のすぐ下では、橋の架け替え工事が行われています。この事業は50年に一度とも言われ、めったにないものだそうです。船木地区社会推進委員会のご提案で、キャリア教育の一貫として、国土交通省・建設会社等の方から、1年生に事業の必要性や仕事の喜び・苦勞を聞いたり、最新の事業機器等を見せていただいたりする機会をいただきました。1年生にとって、ひとつの事業にも様々な人が関わっていることを知る貴重な経験になりました。



3月6日（水曜日） 見守り隊の皆さんありがとうございます。
鵜ノ島小学校

この日は今年度最後の集団下校でした。20人以上の見守り隊の方々に来ていただき、児童代表の6年生が1年間の感謝の気持ちを伝えました。



3月4日（月曜日） 来年度のチャレンジ目標を児童が設定中
上宇部小学校

上宇部小学校では、学校のチャレンジ目標を5年生が作ることになりました。5年生児童は、3学期の始業式で、校長先生から、チャレンジ目標を考えてほしいと依頼がありました。これを受けて、5年生は、総合的な学習の時間として、全員でより良い目標を考えています。この日は、本年度最後の学校運営協議会が行われ、代表の運営委員会の児童が6年生とともに参加し、地域の方々の意見をもらいました。5年生は、4月からは新しい学校のリーダーになります。自ら設定したチャレンジ目標への取組がとても楽しみです。



2月21日（水曜日） 収穫したお米を地域の子ども食堂に寄贈
東岐波小学校

5年生が総合的な学習の時間に育てて収穫したお米（約30キロ）を日の山レストラン（子ども食堂）に寄贈しました。この日、日の山レストランの代表の方が来校され、校長室で5年生の代表がお米を渡しました。代表の方からお礼とともに次回の日の山レストランで使っていただけるとのお言葉をいただきました。3月9日の日の山レストランで5年生の収穫したおいしいお米が食べられるのが楽しみです。



2月15日（木曜日） 大先輩によるハーモニカコンサート
船木小学校

船木小学校を75年前に卒業された渡邊輝弘さんが、卒業を前にした6年生のためにハーモニカコンサートを開いてくださいました。70年前に撮影された航空写真を見ながら、船木小学校のまわりに炭鉱があったこと、蠟（ろう）の原料であるハゼの実がなる木がたくさん植えられていたことなど、とても興味深い話をしてくださり、子どもたちは真剣に聞いていました。また、校歌の歌詞にまつわる船木小学校の歴史を詳し後半は、いよいよコンサートでは、古いハーモニカ、ジャズハーモニカ、ペンダントハーモニカなどいろいろな種類のハーモニカを見せて、吹いてくださいました。音楽で学習した曲も演奏してくださり、一緒に歌を歌いました。



2月8日（木曜日） 地域の方と一緒に道德の学習
黒石小学校

3年生が地域の方と一緒に道德の学習をしました。テーマは「『わたしらしさ』をのぼすために」です。自分の「好き」「苦手」「得意」「頑張りたいこと」について考えました。参加された地域の方に、たくさんほめていただいたり拍手をいただいたりして、子どもたちはとても嬉しそうでした。地域の方からは「お互いのことを認め合っているところがとてもよかったです」「友だを思いやる姿が見られました」といったお言葉をいただきました。



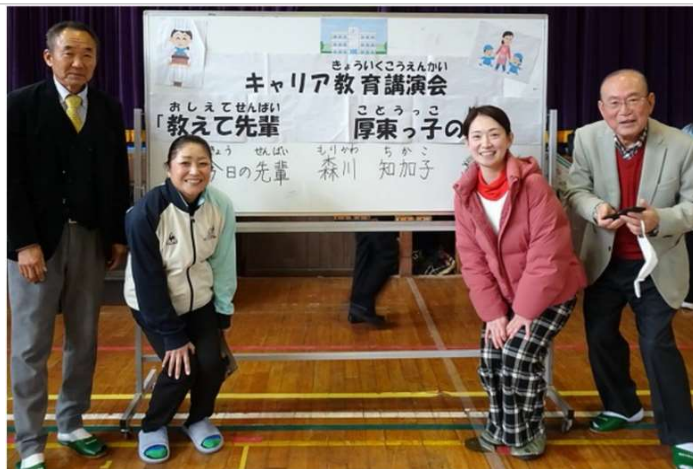
2月1日（木曜日） 先輩による最先端授業
藤山小学校

藤山小学校出身の竹中温雄氏（台湾在住 先進技術AIを用いた授業等を台湾で展開）によるチャットGPTを用いた授業「宇部や藤山小のいいところを世界に発信しよう」を3年生が体験しました。たまたま母校を懐かしんで見学に来られたところ、AIの話になり、急に授業をしていただくことになりました。『AIふじっちょ（藤山小のマスコットキャラクター）』に一人一人が考えたいところをどんどん覚えさせていきました。すると、授業の最後には『AIふじっちょ』に「宇部のことを教えて」と問いかけたら、子どもたちの伝えたいところをまとめて話してくれました。コンピュータと対話するワクワクする体験でした。この授業は、藤山中学校、小野小学校、恩田小学校でも実施します。



1月18日（木曜日） 中学校の校長先生の授業
原小学校

もうすぐ卒業を迎える6年生の授業のゲストとして、黒石中の西村校長先生に来ていただきました。中学生になる前に不安なこと、心配なことなどの質問に答えてもらい、3学期に何をしておくべきかを考えました。勉強のこと、宿題のこと、給食や時間のこと、校則のことなど多くのことを学びました。最後には「中学生になる前に、これだけはやろう、がんばろう、という自分の目標を考えて入学してきてください」というメッセージをいただきました。6年生は「まずは忘れ物をなくそう、自学をしっかりやろう、早寝早起き朝ごはんをあたりまえに」と、入学までの過ごし方を考えていました。



1月17日（水曜日） 教えて先輩 厚東っ子の夢
厚東小学校

厚東小学校で、出身の先輩を講師として招きお話を聞く会が行われました。これは、NPO「厚東ネット」が主催し、毎年行っているキャリア教育の一環です。国内外で活躍しているプロフェッショナルから直接話を聞き、子どもたちが将来の職業観や憧れをもち、大人に向かって生きる目標・夢を見つけるきっかけにすることを目標として行われています。今年度は、介護支援専門員（ケアマネジャー）の森川 知加子 様を講師としてお招きし、福祉・介護に関連する職業や、そのやりがいや重要性などについてお話をいただきました。講師の先生のお話のあとは、厚東ネットの方によるクイズコーナーが用意され、グループごとに考え、学びました。



1月10日（水曜日） 6年生が厚狭高校を訪問
船木小学校

6年生全員で県立厚狭高等学校を訪問しました。厚狭高校は明治6年に船木女兒小学として創立され、今年創立150周年を迎えます。船木小学校を卒業された先輩たちから、高校で頑張っていることや、進路のこと、小学生だった頃の話をしてもらいました。その後、食物系の生徒さんの調理実習の様子を見学したり、服飾系の生徒さんによるファッションショーを見せていただいたりしました。小学校と高等学校の小高連携もいろいろな形で進められています。